

## 平成 29 年度第 1 回小牧市都市景観審議会 議事録

### 1 日時

平成 29 年 8 月 30 日（水）14 時から 15 時 25 分

### 2 場所

小牧市役所 東庁舎 4 階 本会議用控室

### 3 出席委員

瀬口 哲夫	名古屋市立大学名誉教授
西倉 潔	名古屋造形大学教授
小川 真由美	小牧市議会副議長
丸川 翼	小牧青年会議所
林 雄大	愛知建築士会小牧支部
谷口 文男	小牧商工会議所
藤岡 幹根	小牧市文化財保護審議会
名坂 敏彦	小牧市観光協会
伊木 利彦	小牧市市長公室長

### 4 欠席委員

玉木 弘子 小牧市女性の会

### 5 事務局

渡辺 学	小牧市都市建設部都市整備担当部長
牧野 治	小牧市都市建設部都市整備担当次長
永井 浩仁	小牧市都市建設部都市政策課長
柳 充志	小牧市都市建設部都市政策課副主幹
大澤 正人	小牧市都市建設部都市政策課計画係長
小山 仁見	小牧市都市建設部都市政策課主事
伊岐見 崇	小牧市都市建設部都市政策課技師

### 6 議事

第 1 会長の選出について

第 2 議事録署名者の選任

第 3 議題

(1) 小牧市サイン計画及び同配置計画の見直しについて

第 4 その他

(14時00分開会)

### ○事務局（大澤都市政策課係長）

定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。

本日は、お忙しいところ小牧市都市景観審議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、委員就任につきましてもご快諾を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

先日、委員の皆様方には、平成29年8月1日付けの任命書をお送りさせていただいたところですが、任期につきましては、2年間、平成31年7月31日までとなっておりますので、よろしくお願ひします。

また、お送りしました任命書と一緒に「審議会委員及び事務局名簿」をお送りしておりますので、こちらで委員及び事務局の紹介とさせていただきます。

それでは、平成29年度第1回小牧市都市景観審議会を開催させていただきます。

本日の出席委員は、8名であります。従いまして、小牧市都市景観条例施行規則第13条第2項により、本会議は成立をいたしております。

また、小牧市都市景観審議会運営規程第5条第1項により、本日の会議は公開となります。議事録につきましては、市役所の情報公開コーナー及び市のホームページにおいて、後日、公開をさせていただきます。

それでは、会の開催にあたり、都市建設部長の渡辺より、ご挨拶を申し上げます。

### ○事務局（渡辺都市建設部長）

皆様こんにちは。都市建設部長の渡辺と申します。本日は、公私ともご多忙の中、小牧市都市景観審議会の委員としてご快諾を賜り、ご出席いただきましてありがとうございます。

当審議会は、小牧市都市景観審議会条例第1条に基づき、良好な都市景観の形成に関し必要な事項を定めることにより、小牧市を魅力ある美しいまちとすることを目的に設置しております。委員の皆様には、貴重なご意見を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

さて、本日の審議会では議案審議といたしまして、「小牧市サイン計画及び同配置計画の見直しについて」を予定しております。委員の皆様におかれましては活発なご議論をお願ひいたしまして、簡単ではございますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。

よろしくお願ひいたします。

### ○事務局（大澤都市政策課係長）

続きまして、資料の確認をお願いします。本日の資料につきましては、事前に送付をさせていただいておりますが、A4 1枚の議事日程、「資料1「小牧市サイン計画及び小牧市サイン計画 配置計画の見直しについて」と書かれたA3横の資料、そして、資料2と書かれましたA4複数枚の参考資料といたしまして、「サイン計画概況調査結果」と書かれた資料の3点となっております。不足している資料等がございましたらお申し付けいただければと思いますが、いかがでしょうか。ご確認ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。議事の進行につきましては、会長にお務めいただくこととなっておりますが、委員任命後、初めての審議会であり、会長が選出されておられませんので、事務局で仮議長を務めさせていただきますと思いますが、いかがでしょうか。

(意義なしの声)

ありがとうございます。異議なしとのお声をいただきましたので、都市建設部長の渡辺が仮議長を務めさせていただきます。

**○仮議長（渡辺都市建設部長）**

それでは、仮議長を務めさせていただきます。円滑な議事進行にご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。

日程第1「会長の選出について」を議題といたします。会長の選出方法につきましては、小牧市都市景観条例施行規則第12条第1項により、委員の互選により選出することとなっております。委員の皆様のご意見を頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。

**○林委員**

指名推薦の方法でいかがでしょうか。

**○仮議長（渡辺都市建設部長）**

ただいま、林委員から指名推薦とのご提案がございましたが、これにご異議ございませんか。

(意義なしの声)

**○仮議長（渡辺都市建設部長）**

ありがとうございます。異議なしとのごことでございますので、指名推薦でお願いしたいと思います。どなたか推薦をお願いしたいと思います。

**○林委員**

学識経験も豊富で、また、当審議会の会長を務めていただいております瀬口哲夫委員を推薦いたします。

**○仮議長（渡辺都市建設部長）**

ただいま、林委員から、瀬口哲夫委員を会長にとご推薦がありましたが、他にございませんでしょうか。無いようでございますので、瀬口委員を会長とすることにご異議ございませんか。

(意義なしの声)

**○仮議長（渡辺都市建設部長）**

ありがとうございます。異議なしとのごことでございますので、瀬口委員を会長とすることに決しました。ここで、仮議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

**○事務局（大澤都市政策課係長）**

それでは、瀬口会長には議長席にご移動いただき、ご挨拶をいただきたいと思います。

**○瀬口会長**

瀬口です。会長ということで、議事進行を務めさせていただきたいと思います。先ほど渡辺部長さんからお話がありましたように、小牧市の美しいまち、魅力あるまちをつくるためにこの景観審議会があるということでございます。本当に美しくなっているか、魅力あるまちになっているかということが問われなければいけないわけです。今日は特に「サイン計画」ということでございますが、皆様方のご見識で厳しく計画をつくっていただけたらと思っています。よろしく願いいたします。簡単ですが挨拶に代えさせていただきます。

**○事務局（大澤都市政策課係長）**

ありがとうございました。それでは、以後の議事進行につきましては、瀬口会長にお願いをいたします。

**○瀬口会長**

はい。それでは議事進行を務めさせていただきます。景観条例施行規則第12条第3項の規定に基づき、会長の職務代理者を指名いたしたいと思います。

職務代理者には学識経験豊富な西倉潔委員をご指名いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(意義なしの声)

**○瀬口会長**

ありがとうございます。よろしく願いします。それでは西倉委員に職務代理者をお願いしたいと思います。続きまして、議事録の署名者でございます。運営規程第7条第1項に基づき、重ねて恐縮ですが、本日の議事録署名者に西倉潔委員と小川真由美委員をお願いしたいと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

第3、議題の(1)でございます。「小牧市サイン計画及び同配置計画の見直しについて」ということで議題になっておりますので、事務局から説明をお願いいたします。

**○事務局（永井都市政策課係長）**

それでは、ただいま議題となりました「小牧市サイン計画及び同配置計画の見直しについて」、説明をさせていただきます。恐れ入りますが、お手元の資料、資料1をお願いします。

はじめに、「小牧市サイン計画」及び「小牧市サイン計画配置計画」について、説明をさせていただきます。

小牧市サイン計画につきましては、平成11年度に策定しており、市民だけでなく、市外からの来訪者の案内誘導などを目的として、公共サインを体系的に整備することを目指し、種別やデザイン、表記基準など、サインの基本的な考え方を取りまとめたものであります。

また、小牧市サイン計画配置計画につきましては、小牧市サイン計画を踏まえ、各サインの設置位置や表示盤面の掲出内容を具体的に定めたものであり、平成12年度に策定し、平成19年度に新施設設を

加えるなどの一部見直しを行っております。

次に、このたびの見直しの理由についてであります。「2. 見直しの必要性」についてご覧ください。サイン計画は策定から18年が経過し、また、配置計画につきましては見直しから10年が経過することから、時点修正などのため見直しを行う必要があります。具体的には、誘導対象となる公共施設の新設や廃止などの変化や、訪日外国人の増加など踏まえて、見直し検証を検討したいと考えております。

資料の右側をお願いいたします。「3. 見直し方針（案）」であります。一つ目に、都市環境の変化に伴うものとしたしまして、公共施設の新設・廃止及び名称変更に伴う誘導対象施設の見直しと、道路整備に伴うサインの設置位置や掲出内容についての見直しであります。

見直しの方法といたしましては、まず、現地調査や庁内関係各課への照会などを通して、現状把握を行います。次に、その結果を踏まえ、現行計画との整合性を検証し、見直しを行って参ります。

また、社会情勢の変化に伴うものとしたしまして、関連計画の策定による見直しとして、平成27年3月策定の「小牧市都市景観基本計画」及び平成28年3月策定の「小牧市観光振興基本計画」を踏まえた見直し、そして、訪日外国人観光客の増加を踏まえた見直しとして、外国語表記についての検証を行います。見直し方法といたしまして、2つの計画と現行計画を照らし合わせて見直しを行うこと、国等が示す関連制度の確認や関係部署への聞き取りを行い、外国語表記に関する現時点における考え方の整理など見直しを行うものであります。

以上2点の見直し方針（案）に基づき、今年度見直し作業を進めて参りたいと考えており、委員の皆様方のご意見を頂戴して参りたいと考えております。

また、「資料2」といたしまして、途中経過ではございますが、今年度にこれまで調査を実施いたしましたサイン計画の概況調査結果を添付しております。ご参考にしていただければと思います。以上、簡単ではございますが、「小牧市サイン計画及び同配置計画の見直しについて」の説明とさせていただきます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

## ○瀬口会長

ありがとうございます。見直しの必要性について、最近の情勢と現行の配置計画の策定から10年が経過しているということで、施設の変更等がある見直したいということでございます。ご意見を伺いたと思いますが、いかがでしょうか。資料2の説明はないのですか？

## ○事務局（大澤都市政策課係長）

資料2については、今年度見直し業務を発注しておりますが、まず、今回の審議会においては見直し方針をどういった視点で見直そうというのをご確認いただきたいと思っております。資料2は短い期間ではありますが、調査もすでに入りかけている部分の抜粋というかたちで出させていただきましたので、途中経過ということで参考に出させていただきます。

1番としましては、現行のサイン計画の設置状況ということで1ページ目にありますが、市名サインでありますとかドライバー系サインの計画数に対応した設置数でありますとか、英語表記という観点から英語の表記がしてあるのかどうかという記載がされています。

その他3ページには、英語表記の部分について少し触れさせていただいておりますが、最近ですと平成25年度に標識令の改正がございまして、その中で英語表記が明確化されましたよという情報を参考に記載しております。

4ページ以降につきましては、小牧市サイン計画で対象としているドライバー系サインや全市案内サ

インはもとより、サイン計画の対象外としているサインにつきましても、こういった英語表記がしてあるかということを少し調べさせていただいたものになっております。英語表記があるのかないのかの視点で入れさせていただいているものになっております。以上でございます。

### ○瀬口会長

資料2について、簡単に説明をいただきました。資料1を中心にご意見をいただきたいということですが、ご質問、ご意見ございますか。

見直しの方針では、右側の方で公共施設が新しく出来たり無くなったり、道路が整備されることによってその変化に応じてチェックをしますよということですね。それから、社会情勢の変化は先ほど説明がありました、訪日外国人観光客4千万人が目標でしたよね。今は2千万人台だと思いますが、そういうこともあってその対応をどうするか、サイン計画としてどうするかということで、外国語表記について考え方を整理したいということでございます。この方針については、皆さんよろしいですか。ご意見をお伺いしたいと思います。

### ○小川委員

今、方針の中で「訪日外国人観光客の増加を踏まえた見直し」ということで、これはオリンピックなど色々ある中で、小牧も観光に力を入れていますのでとても大事で方針は良いのですが、その中で英語表記について少しお尋ねしたいのですが、例えば資料2の7ページを見ていただくと、史跡小牧山の案内板ということで逆に「英語表記なし」と書いてあるのですが、今後どうされていくのかという方針を聞きたいです。

### ○瀬口会長

今の見直し方針とも関係ありますので、説明をお願いします。

### ○事務局（大澤都市政策課係長）

今、委員からご指摘のありました7ページの史跡小牧山の案内板でありますとか、他の表示板につきましても「英語表記なし」ということで書いてございます。まず、今回の小牧市サイン計画の方で少し話をさせていただきますと、「サイン」と広く捉えますとこのような案内板も「サイン」になるのですが、小牧市サイン計画としては、この案内板は対象から外れているところではあるのですが、英語表記については例えば英語だけで良いのかとか、英語がわからない外国人の方もお見えになるのですが、サインという盤面の中に複数の言語を入れますと、どうしても限られた表示板の中で文字のサイズが小さくなってしまったりということで、サイン自体の性能の低下ということもあります。ですので、小牧市サイン計画でいいますと、市内案内表示、いわゆる歩行者系の全市案内サインなどに英語表記を考えていこうといたしますと、QRコードを表示板に貼って、それでスマホを持ってみえる方に限られるのかもしれませんが、そちらで複数言語の表示をするという方策もあると聞いておりますので、今度のサイン計画も対象の範囲の中ではございますが、そうしたことも考えているところでございます。従いまして、今の小牧山の案内板を多言語表示化してというようなご質問に対して、サイン計画対象外ということもございますので申し上げにくい部分もありますが、複数言語の対応としては看板に全部の言語を書く必要はなく、QRコードという方法も考えて行けたらと思っております。

## ○小川委員

わかりました。今、サインについて対象外と対象内があるというお話をしていただいた中で、やはり多くの外国の方がみえればQRコードのお話もされましたが、多くの方に内容を知っていただく面では、今後大事になってくるのかなと思いました。そういった中で、11ページのこれは市役所の庁内になるのですが、これは対象外なのか対象内なのか、先にお聞かせいただきたいと思います。

## ○事務局（大澤都市政策課係長）

サイン計画の対象外となっております。

## ○小川委員

これも本来ですと、議会でもローマ字より英語表記とすべきではないかというかたちで話をしているのですが、今後、インターナショナルやグローバル化にあわせて英語表記にしていきたいと思います。

もう1点だけ、最後に良いですか。事前に小牧市サイン計画をいただいておまして、この中の22ページを見ていただきますと、今までもずっと英語表記というかたちで施設の英語があるのですが、これを見て疑問に思ったことがあって質問させていただきたいのですが、22ページの中で、消防署の東支署とか南、北を英語で「Higashi Fire Station」や「Minami Fire Station」、「Kita Fire Station」と書いてあるのですが、地区で大体、地域で名前が付いている地区名をそのままローマ字表記にされるのですが、消防署が東と南と北の支署があるよと言うことで、調べると実際「Fire Station East Branch Office」とか、南ですと「South Branch Office」とかある中で、もしくは「Fire Station Of East」や「Fire Station Of South」、「Fire Station Of North」というかたちかなと自分の中では思ったので、その辺りがこれはどういう風にこの表記になったのかなと。東西南北を表す上でのそれぞれに消防署があると私は思っていたので、地域だったらそのままの地区の南とか西とか北を使っても良いと思うのですが、ふと表示を見たら、他は地域で地区名は英語を使っていますけれども、消防署だけ方向を表している場所の「Station」だと英語表記で「South」とか。

## ○瀬口会長

これは施設の方の名称で、一方でこれは参考資料になっているのですけれども、それぞれの消防署はこういう英語名を使っているのか、それと一致させなければいけませんね。その辺を含めて説明をいただけませんか。

## ○名坂委員

ご回答の前に、一つ意見を申し上げます。小牧市観光協会の名坂と申しますが、職業柄色々な外国の街に行ったり、逆に日本で色々受け入れのところのインバウンドをやってきたのですが、大事なところは英語に置き換えて「北」は「North」にしたいのですが、残念ながら日本人は英語が得意ではないということがありまして、今度は日本人が聞いて言う時に「North」と言わずに「何々北」とか言った時に、そんな時は日本語の、中国語でもありますね。意味で中国語の漢字を入れたり、発音を当て字で入れたりということがあるように、絶対に英語に換えて言うべきところと、日本人が回答の時に日本語で言うことがあるからそれをわかるようにローマ字でやるという市町村もありますし、そのこの区別を考えていくと良いのではないかなと思いました。すべて英語で完璧にやって、日本人もわかってやり取りが

できれば、オリンピックには遠いですが 2026 年にはアジア大会があって、多分パークアリーナが会場になるのでは。そういった時に外国人がたくさん来た時にはスムーズになるようにという思いもありまして、その区分けをされていかれると良いのではと思ったこともあります。

#### ○事務局（永井都市政策課長）

ただいまお二方の委員の方からご意見を頂戴しております。結論といたしましては、検討、検証をさせていただきたいということなんですけれども、一つは、例えばのお話で富士山がありまして、「Mt. Fuji」なのか「Mt. Fujisan」なのか、どちらが良いかということで。

#### ○瀬口会長

最近「Mt. Fujisan」でやっていますね。

#### ○事務局（永井都市政策課長）

そうですね。日本人は「富士山」といいますので、外国人の方が聞かれた時に「Fujisan」と聞いた方がわかりやすいので「Mt. Fujisan」だったりします。それは完全に英語に変えると Fujisan の「san」は山だから「Mt. Fuji」で良いんじゃないかという議論もありますので、どの程度その施設が有名なのか有名でないのか、聞きなれた言葉なのかそうでないのか微妙なところはありますけれどもその辺りを含めて時点修正という意味で改めて全て検証させていただきたいと考えております。

#### ○瀬口会長

もう一つ、これはここで変えられないのかもしれませんが、それぞれ消防署や小学校が決めているわけだから、大学だってここで勝手に英語を変えてしまうわけにはいかないもので、それはどうですか。この「ふれあいセンター」というのは、それぞれ施設は英語になっているんでしょう。それはどうでしょうか。

#### ○事務局（永井都市政策課長）

議長がおっしゃられるとおり、それは相手の方にお聞きして決めていかなければいけないことだと考えておりますが、それも含めて一度聞いて、こういう風にお願ひしますと回答されると思いますので、その辺りも含めて検証させていただきたいと思ひます。

#### ○小川委員

今回答をいただいて、今後検討をしていただけるということなので、実際に英語表記というのは今言われた外国の方が来られて英語を使うという中で、先ほど他の委員もおっしゃっていましたが、実際に外国の方にわかるようだったら「北」よりは「North」とか「South」という方が場所がどちらの方がわかるので、一度検討して下さい。

#### ○瀬口会長

ありがとうございました。

#### ○西倉委員

今外国語表記を決める部署というのは、どこか特別にあるのですか。というのは、とある県では外国

語表記に直す部署というのは専門の方がいて、そこで最も外国人に馴染みやすい言語にまず直すと。それを今度は日本語に持ってきて、それがいけるかどうかの議論があるという、そういう順番で決めていたのを覚えています、小牧市では英語表記をする部署はどこか特別にあるわけですか。

#### ○瀬口会長

どうですか。先ほどの説明だと問い合わせるとのことだから、各部署が持っている可能性ですね。

#### ○事務局（永井都市政策課長）

今はそれを専門に検討する部署はございませんので、それぞれの施設所管課にまずはお聞きするという形になると思います。

#### ○瀬口会長

その時おかしいぞというのは誰が言ってあげるのですか？都市政策課がやるんですかね。

#### ○事務局（永井都市政策課長）

その辺りのコーディネートはどこかがやらなくてはいけないので、この見直し作業は都市政策課の方である程度コーディネートしたいと考えております。

#### ○瀬口会長

ありがとうございます。英語としておかしいのかどうかは私にはわかりませんが、今はアメリカ人がイギリス人が基本的に英語の訳をやっているんですね。だからアメリカ人に聞くんだらうけれど、「味岡市民センター」そのものを知らない人が聞くと、文字だけで英語にするとやっぱりおかしいんですね。世界遺産になった愛知県のお祭りの時に英語で冊子をつくって、ネイティブの人に見てもらって徳川家のことを書いた文章を訳したら「Tokugawa House」と書いてあったんですね。それは日本人が徳川家を教えてあげないとネイティブだといっても徳川家を文字だけで読んでそのまま訳すと「Tokugawa House」ですよ。だから、そこが重要じゃないかと、意味がわからないと多分訳せない。ネイティブにやってもらえと言っても訳せない。そこを注意してやっていただけたらと思います。ここは皆さん言いたいことはあるでしょうから是非。

#### ○事務局（大澤都市政策課係長）

少し補足をさせていただきますと、これは平成11年度に元々のサイン計画をつくってございまして、その際に英語表記の考え方を入れています。国際的に広く普及している英語を併記するという考え方のもと、英語表記の基本原則として名称表記には英語を併記する、ローマ字を使う場合にはヘボン式にするとか、その辺りの基本原則を持っております。表記については、普通名詞部分は英語に訳して表記する、例えば「小牧市役所」でありますと「Komaki City Hall」、河川については、例えば「小牧川」であれば「Komaki River」とします。橋梁については固有名詞+Bridgeということで、「小牧橋」であれば「Komaki Bridge」とします。町名については、英訳をせずに「小牧三丁目」であれば「Komaki 3-chome」と表示をするというような基本的な考え方のもと、各施設に対してもそれぞれ固有で英語表記の方法が載っているということもありますので、その辺りも当時聞き取りを行って、先ほどご覧いただいている英語表記の形になったという状況でございます。

### ○瀬口会長

原則はわかりましたが、例えば「勤労センター」は「Convention Center」かなと思う人がいると思うんですけども、その辺りはどのような原則でやっているんですか？

### ○事務局（大澤都市政策課係長）

もう一度原則は原則の中に委員の皆様からいただいた意見も踏まえて、見直しができるという部分があるのかも含めて検討していきたいと思っております。ただ、ある程度設置をしてしまった看板もありますので、その辺りをどうしていくのかということも重ねながら考えていけたらと考えております。

### ○瀬口会長

そういうことだそうです。つまり原則は大体良いんだけど、例外のものが問題になりそうという感じがします。

### ○西倉委員

そのとおりだと思いますが、こうやって決めたというのは、決めた方が責任を持って決められたんですけど、どうやって決めたのということは問題で、例えばネイティブでしかも日本語のかなりわかる外国の方数人に意見を聞いたら、全然違う答えが出ると思います。身近な外国人からは日本のサイン表示は気持ちが悪くしょうがないというのが一般的な感想ですので、この見直しができる範囲においては是非庁内で決めたというのではなくて、ネイティブな方何人かに聞かれると良いと思います。

### ○瀬口会長

よろしく願いいたします。もう一つは国レベルで決めたさっきの富士山の場合は「Mt. Fujisan」、川の場合も「kisogawa River」という風に最近はなってきたように思いますけれども、そういう風に変わってきているものについては、これは原則を変えてもあれだから対応しましょうということはどうするかというのを考えていただいたらどうでしょう。それから「史跡小牧山」も「Historical Site」なのか、どういう風に言っていますか。国史跡？県史跡？国史跡。「国史跡」は普通「国史跡」とは書かないですよ。でも英語表記の時は「National」を入れるかどうか、どうしますか。文化財の方で意見はございますか？

### ○藤岡委員

その点については、小牧山課の方が主になってくるのか、こことタイアップになってくるのかただとか、その辺も含めて力関係や役所関係のことはわからないものですから、どう答えればよいのかなというのは、さっきの資料の7ページで言いますと、小牧市役所の北庁舎がまだ載ったままになっているのもありますし、看板によっては見直しを図らなければいけないのですが、それはここの課の方で動いてもらってやってもらうことなのか、小牧山課で早く直せと言うかたちで動くのか、その辺がわからないので、それによっても変わってくるかなと。その表記も含めて、どちらの課でどんな風にとというのがわからないです。

## ○西倉委員

それを色々な課でやるとグチャグチャになるので、英語表記をする専門の部署があれば良いですね。あるいはそれを委託する。

## ○藤岡委員

それではさっそく今日帰って、小牧山課と連絡を取りあって確認をさせていただきたいと思います。

## ○瀬口会長

基本的に主要なところはキチンと調整して欲しいですね。小牧山のところは小牧市にとってはメインだから、その表記は調整して統一する。なかなか難しいと思いますが、相当エネルギーがいると思いますが、英語で読むと意味不明というか。「いわぎき授産所」は「Sheltered Work Program」なんて全然わからないですね。これはアメリカで使っている言葉ですかね。前にもこれをつくる時にキチンとしたんでしょうけれど、やっぱり時代が経ってきているから「Fresh Park」なんて全然わからない。「名古屋空港」は「県営名古屋空港」といったりするじゃないですか。それはないんですかね。

## ○小川委員

23 ページに「歴史館(小牧城)」があるのですが、本来だったらこれも歴史館だったら「History Museum」とか「(Castle)」とか、この辺も変えていかないと「Castle Museum」って城のミュージアムですよ。というとなんとなくイメージが歴史なのか城なのかわからなくなるので。

## ○瀬口会長

お城でしょうね。「Castle Museum」だと。

## ○小川委員

でも「歴史館」と言っていますから、歴史だったら「History」を入れるのかとか、その辺りも全体的に見直しは必要かと思います。

## ○瀬口会長

そうですね。パンフレットがあるでしょうから、歴史館に行くとき英語で説明してあるでしょうしね。調整がやっぱり必要でしょうね。だから都市政策課でタッチできるのは、内容までは多分大変だから、サイン計画に名称するのが間違いがないかと、今資料館がこうだったらこれを使いますよと言うか、変えてくださいと言うか検討して下さいと言うか、それをハッキリした方が良いでしょう。それを変えて中身を調整するというと、課長さんは大変ですよ。

## ○事務局(永井都市政策課長)

さすがにこれだけ年数が経って、今これだけここがおかしいんじゃないかというところが様々出てくるわけです。私も聞いていてこれはおかしいだろうというところがたくさんあります。西倉委員が先ほど言われたように、どこかが責任を持ってキチンと言っていかないと、私どもが所管していない看板がたくさんあって、それに対してここがおかしいんじゃないかと言っても、これで良いんだと言われてしまうと終わってしまうんですけど、それでもそれはちょっとおかしいよということは申し上げて、最

終的にはそれぞれの看板などを所有してみえる課の権限で決めていただく必要がどうしてもありますので、その辺りを少し口を挟みながらどこまでできるか、ただ、これはやっぱりおかしいよねというところでもどこかで着地点を見つけていきたいと考えておりますので、色々と方針が定まって参りましたら、ご意見を頂戴したいと思います。

#### ○瀬口会長

ここの英語表記というのは、それぞれの施設が使っている表記と理解すれば良いですか？そうでないものも入っている？それを区別したらどうですか？

#### ○事務局（永井都市政策課長）

参考にさせていただきたいと思います。

#### ○瀬口会長

他にはどうでしょうか。

#### ○藤岡委員

看板のところに地図が表記されているんですけども、その地図の向きと地図を見るときに向きと看板の書いてある内容の向きが違っているところが何箇所かあって、頭の中で方向を転換しないといけない場合が結構ありまして、見ていても地図がわかるようではわからないという部分があって、とりわけ学校の施設のところの避難所なんていう校舎の向きと看板の向きが全然違ったりだとかが現実にあるんです。ですから、そういったところも見直しを図っていただいて、自分が見ている向きのままに地図を見られるようなかたちにしていただくか、あるいは看板の位置を変えていただくか、何か考えていただけるとありがたいかなと思います。

#### ○瀬口会長

今はどういう方針で設置をしていますか？自分の向きであるのか北側を必ず上になっているとか、何か方針があるんですね。それはどうなっていますか？

#### ○事務局（大澤都市政策課係長）

お手元にあります資料の5ページに全市案内サインというものがございしますが、こちらは市内全域の施設が小牧市の図面に落ちているもので、主要な駅や観光施設に配置するという方針のものでございます。こちらについてはご覧のとおり北が上になっている方針のものでございます。その下に歩行者系町名誘導サインということで、こちらについてもその周辺の地図が載っておりますが、これも北が上のサインとなっています。

サイン計画では対象としているものが4ページから載っております。こちらは地区は載っておりませんがドライバー系のサインが4ページのもの、先ほど説明させていただきました5ページに全市案内サイン、歩行者系町名誘導サインというものになりまして、委員からご指摘のあった避難所とかその辺りの地図については、各施設管理者でありますとか所管課が責任を持って設置をしているものでありまして、サイン計画における地図につきましては基本的には北が上というかたちで設置しております。

委員のご指摘のあった部分については担当課の方にそういったご意見がありましたということはお

伝えることはできますが、どうしてもサイン計画の対象の学区が限られておりますのでどうしてもそれを直していくという方針にするのは難しいかなと思っております。

#### ○藤岡委員

この資料でいくと、10 ページのところにこれは総合運動場の地図ですか、下の地図ですけれど、こちらでいきますと右側が北になっているんですが、実際に看板の向きからすると、「現在地」と書いてあるところからちょうどこういう配置になっているわけですね。ですからとりわけすぐ近くの施設を見るだとかいう時には、別に北に拘らなくても見たままというかたちの方がより良いのかなと思うのです。大きな地図でおよその配置だとかいった時の市の案内板のようなものは上が北が良いのですけれども、そんなかたちの方が利用しやすいのかなと思うのですが、もっと言えば、市役所の中の配置図の何課がどこでというのをキチンと北を上にしていたのかということになると、利用しづらくなるんじゃないですか？

#### ○事務局（大澤都市政策課係長）

少し説明が誤っていた部分がありまして、お手元の資料の5 ページですね。委員のご指摘の市内全域であればもちろん北が上ということになりますが、近いものについては向きに合わせていくというようなご意見を頂戴いたしまして、説明が誤っていたのですが上側の全市案内サインの盤面の左側は小牧市全図ということで北が上になっておりますが、右側は少し拡大してみるものですが、これはちょうど小牧駅に建っている全市案内サインというものでありまして、ちょうど西を向いて見る看板になります。右側の方は濃い緑色が小牧山になるんですが、それが上にあるということで西を上に向けたという、見ている方向に向けたという状況でこちらの詳細図といいますか近隣図については向きを合わせているということでありまして、それと、下側の歩行者系誘導サインについても同様に、向きを合わせているということになっております。

#### ○藤岡委員

そのことからすると、市内の看板を見るとその原則には成り立っていない場所があるので、利用しやすいように改善を図っていただけるとありがたいなということですね。

#### ○瀬口会長

看板というのは？

#### ○藤岡委員

今現在ついている看板のところ、広域避難所の説明の看板。

#### ○瀬口会長

広域避難所は、対象外ですか対象内ですか？

#### ○事務局

対象外ですね。

### ○藤岡委員

対象外ですか。そうすると、これはどこに働きかけをしていくと良いんですか？

### ○瀬口会長

何課の担当になりますか？防災？

### ○藤岡委員

どうしてこんなことを聞くかと言うと、どこまでがどの課が行うものなのかが全くわかっていないものですから、先ほどのように統括して働きかけをしてもらえるのであれば、それは市内の看板全体を見通して改善を図っていただけるとありがたいなという思いで意見を言わせてもらっております。できれば働きかけをしていただいて改善を図っていただけるように進めていただければ幸いです。

### ○瀬口会長

何課ですか？

### ○事務局（大澤都市政策課係長）

確認をしていない部分がありますが、危機管理課がございまして、そちらと一度話をしてみたいと考えております。先ほど写真で説明させていただきましたが、対象としているものとしましては、自動車に向けたいわゆる「ドライバー系サイン」と呼んでおりますが、市内の境界部のところに建ててあります市名サイン、「小牧市」と書かれて建っているものですか、41号などに建ててあります「ウェルカムサイン」と呼んでいるものでございます。そちらのものと施設誘導サイン、資料については4ページにございます小牧山をデザインしたようなものでございます。こちらのドライバー系誘導サインが対象になっております。その他、歩行者を対象としているサインとしては5ページの「全市案内サイン」も小牧山をかたどったものでありますが、こちらと「周辺案内サイン」ということで5ページの下側にあるようなものでありますとか、「町名表示板」というものを対象にしております。その他のものについては、各管理者の方に委ねていくというような状況になっております。

### ○瀬口会長

問題がどんどん広がってくるわけですが、名称についてはとりあえず統一して、歩行者系にしる自動車系にしる施設誘導系にしる統一しないとまずいので、建物を管理しているところと調整をしましょう。そうすると案内図を書くということになると、例えば公園の中の案内図と広域避難の案内図の二つとも、都市政策課とは関係のないところが出しているわけです。それについて口を出すかどうかというのが今出たわけですね。ですから文化財の方は統一していただいて、例えば文化財はこうしましょう、防災の方もこうしましょうと話し合っ、後はそれぞれの担当課でやってもらうようにするかどうか。全部永井課長さんがやりますか？

### ○事務局（永井都市政策課長）

都市政策課の知らないところで看板が設置される可能性はいくらでもありますので、こちらの課でできることは、庁内に通知文書を出すようなことはできるわけです。「こういうことに気を付けて設置して下さい」ということはできますが、それ以上は基本等に気を付けていただいて、それを作成されるか

どうかは逐次報告を受けたりというのもおかしな話になりますので、そこはやはりそれぞれの設置の責任者にお任せするしか方法はないということなので、一旦通知文等ではやらせていただきますがということは今考えておりますが、全部私が見て回ってということはできないと考えております。

### ○瀬口会長

統一できると良いですね。

### ○名坂委員

よろしいですか？感想ですが、観光協会のフィールドでいくとまだインバウンドの方は少なく、どちらかというと住んでいる外国人向けかもわかりませんが、インバウンドのことを言うと日本のガイドブックの書き方は大体統一されてきていますので、それをたくさん調べて、それを見て来るからそれに合うような言い方で書いてもらおうと外国人にはわかりやすいかなという気はいたします。

### ○瀬口会長

そうですね。観光系の案内看板も統一して欲しいですね。

### ○名坂委員

そうですね。観光系はどちらかという「北」なら「North」ではなくて「Kita」と書かれているものが多いかなと。外国語の看板は少ないから、日本語の看板を見る時に聞いてわかりやすくするためにそういう風になっているのかなという感想を持っていますけれど。

### ○瀬口会長

7ページの「小牧山順路案内図」は公園の方が設置すると多分このようになりますけれども、文化財の方がやると「史跡 小牧山」という風になるんでしょう？そこは統一して欲しいですね。間違いではないんでしょうけれど、英語はない。日本人対象。方位盤が逆さまになっているのは見る方向になっているんだということは、山の向こうに建っているんですね。

ということで、色々課題があるわけですが、見直したいということについては、皆さん賛同していただけると。課題があるということで臨みますので、そのまとめ方についてはなかなか大変ですけど、名称について、英語表記については、皆さんの意見を参考にしてできるだけ統一してもらおうような連帯協力をするか、こういうことができるかどうかとりあえず都市政策課がやるということでした。それから、それぞれの部局が複数出しているようなものについては、名称だけではなくて表記の仕方、英語表記であるとか方向の統一をするかということなんですけれど、原則がこちらでハッキリしていれば、その原則を伝える。こういうことがお願いできるかどうか、原則をつくる時に一回、観光、防災というところと打合せをしてみるとか、そんなことが皆さんのご意見で考えられることかなと思います。

市役所の内部のローマ字表記ですが、これも市庁舎を新しくしたときに議論したんでしょうけれども、時代が経ってくると英語表記で良いじゃないかという話もあって、外国人が来た時にどうするんでしょうか。私も昔、ロンドンに留学している時に区役所に行ったら、外国人は「Alien」と書いてありましたね。我々は「Alien」は「異邦人」だと思っていたんですが、イギリス人はそういう風に捉えていないのかと反省しましたがけれども。市役所に来た外国人が少なくとも良く行くような学校教育課だとかについては、やっぱり対応を考えた方が良いかもしれませんね。

### ○名坂委員

空港でも「Alien」は結構ありましたが、今は「Foreign」になっていますね。

### ○瀬口会長

そんなところでしょうか。駅なども英語表記がないとわからないですね。説明文については、先ほどあったQRコードとかの情報ツールを使って中身を示すということは随分前から行われているので、それでかなり、持っていない人はしょうがないですね。残念ですけど持ってきて下さいと言うしかないですね。殆ど持っていますよね。日本人はスマートフォンは50%ぐらい？中国なんかは80%ぐらいなんですよ、安いから。だから外国人は持っていると考えて良いんじゃないですか。ほとんどスマホか何かで見えていますね。よろしいでしょうか？

### ○西倉委員

全体のことでよろしいですか？

### ○瀬口会長

はい、結構です。

### ○西倉委員

サイン計画は平成20年、今から10年ぐらい前につくられたんだと思いますが、今色々な変更や意見が出てくるものをその後移し替える時には、どなたがやられるわけですか？つまり、このサイン計画をつくられたのは、恐らくサインのデザインを専門としているデザイナーがやられたんだと思うんですけども、ここから新しいサインが出てきた場合、あるいは英語表記が変わった場合、その時はサインのデザイン化をするのはどなたがやられるんですか？

### ○瀬口会長

今の質問は、11ページ、12ページとかそういうところにありますよね、前も同じですが9ページ、10ページ。これは今回変えると考えているのか、変えないのか？変えるとすると、そのデザインをどうするか？という話が、まず大きく課題として出てきますよね。この今までの原則でやるんだけれども、やっぱり中でデザインが必要なところが出てくるか？その二つがあると思うんですけども、まずどのように考えていますか？

### ○事務局（永井都市政策課長）

今回の見直しで私どもが所管するサイン計画の範囲内のものにつきましては、今のところデザインを変える予定はなく、その見直しということで表記をどうするかということでの検討をさせていただきたいと考えております。それから、対象外の看板につきましては、管理が私どもでは行き届かないところがありますので、そのデザインに関して私どもが、先ほど通知文というものがございましたけれども、それ以上のことができるかは考えにくいかなと思います。

もう1点ご説明をさせていただきたいのは、資料2の1ページでございますが、表の真ん中やや右のところに「整備率」と書かせていただいております。計画が古いわりにはなかなか100%に至っていない

いという状況がございまして、この辺りは言い訳になってしまうのかもしれませんが、なかなか小牧市の方で景観というものの看板に対しての予算が付きにくい。各自治体で予算が厳しい折、なかなか予算が付いてこないというところもあって、整備率が近年では伸び悩んでいるという状況がございまして。ですので、まだ新設する部分、それから今回見直しによって表記を変えなければいけないものが出てきたとしても、キチンと予算を確保してそれを実現していくということをどうやって早期に諮るかというのは、また新たな課題になってくるところでございまして、少なくともいずれにいたしましてもサイン計画で定めるものについてはキチンと都市政策の方で管理をして実現を図っていきたくて考えております。

#### ○西倉委員

質問はもう少し細かいことを聞いたんですけども、例えばサイン計画の中の11ページに、ここにたくさん「小牧市」という漢字とアルファベットの「Komaki City」というのがありますが、アルファベットが先に来て次に漢字が来ていると。ただ字が逆転しているだけじゃないかという風に思うのは余りにも素人過ぎるわけですね。つまり、どのようにロゴや文字配列をするかというのはデザインなわけですよ。それを今回、こういう風が変わったから役所の中で字をこういう風に並び変えましたというのは、サイン計画が何年かするとグチャグチャになっていくんですね。それはこういう風に委員会が開かれてサイン計画の見直しをするぐらいの大きな話であるならば、キチンとしたデザイナー、例えばここでもうやられていますから、このデザインを基本的にやられたデザイナーに委託をして、デザインのやり直しが発生するならば、その分はやってもらうということが正しいと思います。

#### ○瀬口会長

はい、ありがとうございます。そういうご意見ですが、どうでしょうか。

#### ○事務局（永井都市政策課長）

今、委員の方からはかなり理想的なご意見をいただいたという認識をいたしております。限られた予算の中で、コストパフォーマンス良く何ができるか、少し検討してみたいと考えております。

#### ○瀬口会長

はい、よろしいでしょうか。

#### ○小川委員

基本は都市政策課の方でこのサインをやっているんですけど、簡単に言うと、このサインは外注しているのか、課のどなたかがこういうふうに配置を考えたりタイプをやっているのかということです。

#### ○瀬口会長

既にデザインを決めてあるわけですよね。ロゴタイプが決まっていて、それから色についても「DIC.P-968：深緑」ともう決めてあるということですね。これは外注でつくってあると思うんですけども、今度新しくつくるのは外注にするかどうかなんですか？

○西倉委員

ここから直すのは誰かということです。

○瀬口会長

今まで新しいものを設置する時、どういう風に発注していますか？

○事務局（永井都市政策課長）

勘違いしていたのかもしれませんが、このデザインはもう既に決まっています、小牧山の意匠なんかも決まっています正面と背面というのがあります。先ほど言われた漢字の「小牧市」と「Komaki City」がどのように配列されているかというのは、正面と背面でデザインが決まっておりますので、そういう風に正面から見たら「小牧市」が後ろにある。背面から見た時は漢字の「小牧市」が最初に来ているというデザインなので、これを変える予定は今のところありません。

○西倉委員

そう言ったのではなくて、その前後の並べ方は、ただ反対になっているだけではなくて、デザイナーがかなり神経を使って裏面にした時はどうなのかとか、そういう検証をしながら決めたものなんです。そもそもそうやって決まったわけですね、このデザインが。今度、今ここで議論している新しい名称の話だとか色々出てきていますが、そういうものをサインの中に入れていく時には、やっぱりデザイナーがやった方が良くないですかというのが、私の意見です。

○事務局（永井都市政策課長）

バランスとかということですか？

○西倉委員

「とか」じゃなくて、「とか」がデザインなんです。

○瀬口会長

参考にさせていただきますか？

○事務局（永井都市政策課長）

はい、わかりました。

○瀬口会長

そういう意見がありますので、今まではどうしていたんですかね。新しいものをつくる時は、どういう風にしていましたか？新しく、例えば今年度2基設置するという時はどうやってつくるんですか？やっぱりこのデザイン原則に沿って建物の名称を入れて、色を入れてというものを都市政策課の方が業者に指示をしてつくっているんですか？それともデザイナーが間に入ってそれで業者にいつているんですか？

### ○事務局（大澤都市政策課係長）

サイン計画の基準に、こちらに字の大きさですとか盤面の大きさですとかがありますので、その辺りを踏まえて業者に指示をして、これと合致するようにということをします。デザイナーに間に入っていていただくというのではなくて、主に文字の大きさですとか、ドライバー系サインの場合はある程度の大きさがないと文字が見えないとかを決めてありますので、新たに設置する場合は、そうやって発注をしております。

### ○瀬口会長

はい、そういうことだそうです。業者の方でも名古屋造形大の卒業生がいましたけれども、だから専門の人かもしれないでしょうし。その辺のご意見をいただきました。参考にさせていただけたらと思います。まだ整備率が一番高くても76%、歩行者系でも30%なのでちょっと低いぞと言うことですね。愛知県の中で。こういう統一デザインでしているところで整備率を比較した数値はないかもしれませんが、どの程度ですか他の都市は。調べていないですよ。

### ○事務局（大澤都市政策課係長）

把握しておりません。

### ○瀬口会長

統一デザインを持っているところはありそうだけれど、何となくその市に入ると特徴がありそうだからあると思うんですが。よろしいでしょうか？なかなか議論をすると色々深いところがありそうですけれど、とりあえず見直しに諮って、そこでやっぱり名称については整合性や新しいものとか、それはしっかり調整していただくと。そうすると、自分の管轄しているものではない施設についても、名称がおかしいとか色々あるので、それを少し調整していただきたい。それから、地図が入ってくるとまた別途問題が拡大するので、それについてもそれぞれの担当課のご意見を聞きながらできたら良いなという二段階になりますかね。デザインについてもご意見をいただきました。他にはよろしいでしょうか？一生懸命最初につくったデザインは不評ではないですよ、きっと。色目も悪くないから、赤や黄色よりも深緑の方が落ちついて良い感じがしますけれど、市民の反応も見ながら。是非進めていただきたいと思います。

資料1の「見直し方針（案）」について、今日は議題になっておりました。これは一応皆さんから特に反対意見もございませんので、よろしいということでございましたので、今出ました意見を参考にし進めていただきたいということでございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、次の日程4に入ります。「その他」です。事務局の方から説明をお願いいたします。

### ○事務局（永井都市政策課長）

はい、それでは事務局からは1点、次回の審議会の開催予定について報告させていただきます。

次回は、本日委員の皆様方にご審議いただきました「見直し方針」に基づきまして作業を進めて参ります。ある程度ご報告できる段階になりましたら、改めてお集まりをいただきたいと考えておりますので、またご連絡を申し上げたいと思ひます。

次回についての予定でございます。

○瀬口会長

はい。大体いつ頃になりますか？年度末か年が明けてから？

○事務局（永井都市政策課長）

はい、年が変わって1月頃となるのではないかと予定をいたしております。よろしく申し上げます。

○瀬口会長

はい。来年1月の予定だそうでございます。それでは、今年度第1回の小牧市都市計画審議会をこれで終了していただきます。色々お時間をいただきましてありがとうございました。

以上